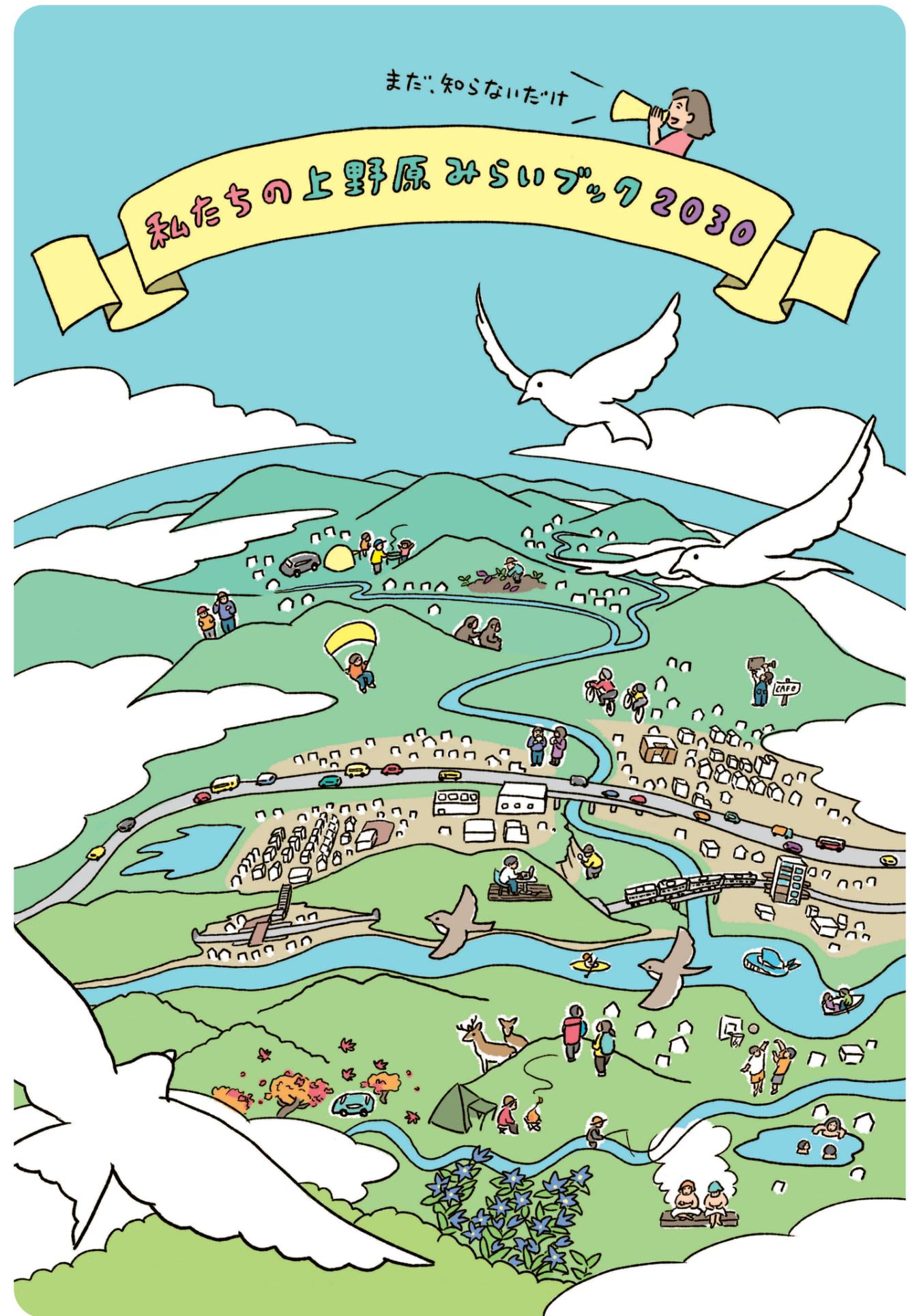


まだ
知らないだけ
上野原

発行元：上野原市役所



私たちの 上野原みらいブック

2030

はじめに

上野原市は、平成17(2005)年に上野原町と秋山村が合併し誕生してから、令和7(2025)年で二十歳(ハタチ)を迎えました。

まちが誕生してから一步一步あゆみを進めてきましたが、立派な大人として自立していくには、どんなことが必要でしょうか？

上野原市では、ハタチの第一歩として、市民一人ひとりがこのまちに暮らしていて「幸せ」を実感し、「住みたい」、「住み続けたい」という想いを増やすために、「上野原市みらい戦略2025-2030」を策定しました。さらに、今回は多様な市民が計画策定に参加し、その後のまちづくりにも参画してもらうため、「うえのはら未来会議」や市民・団体ヒアリング、市民アンケートなど様々なカタチで市民のみなさまの想いを聞いてきました。

この「私たちの上野原みらいブック2030」は、そんな想いをきっかけとして、市民一人ひとりがまちづくりに参加し、「上野原で暮らす幸せ」を実現するにはどうしたらよいか、そのアイデアやヒントを取りまとめています。

みらい戦略をつくるなかで「絵に描いた餅にならないように」や「実行・実現しなければ意味がない」といった声をたくさんいただきました。正に今回つくった戦略を単なる計画に終わらせないことが重要です。しかし、まずは胸に秘めている理想の未来や夢を「言葉」にすることで、その想いに共感し、仲間や資源が集まり、活動が広がっていきます。未来が見えにくいからこそ、まだ知られていない資源や将来の課題など「未知を価値に変えるまちづくり」が必要なのです。

あなたの想いが、この上野原のみらいにつながっています。その想いをカタチにし、みんなで「上野原のみらい」を作っていきましょう。

上野原が上野原で 在り続けるために

上野原市の人口は、平成7(1995)年の30,248人をピークに減り続けています。また、国の将来推計をみても、減少の一途をたどり、2050年には11,762人と令和2(2020)年のほぼ半数近くまでになってしまいます。このまま、上野原に暮らす人が減少し続けた場合、私たちの暮らしはどうなるのでしょうか？

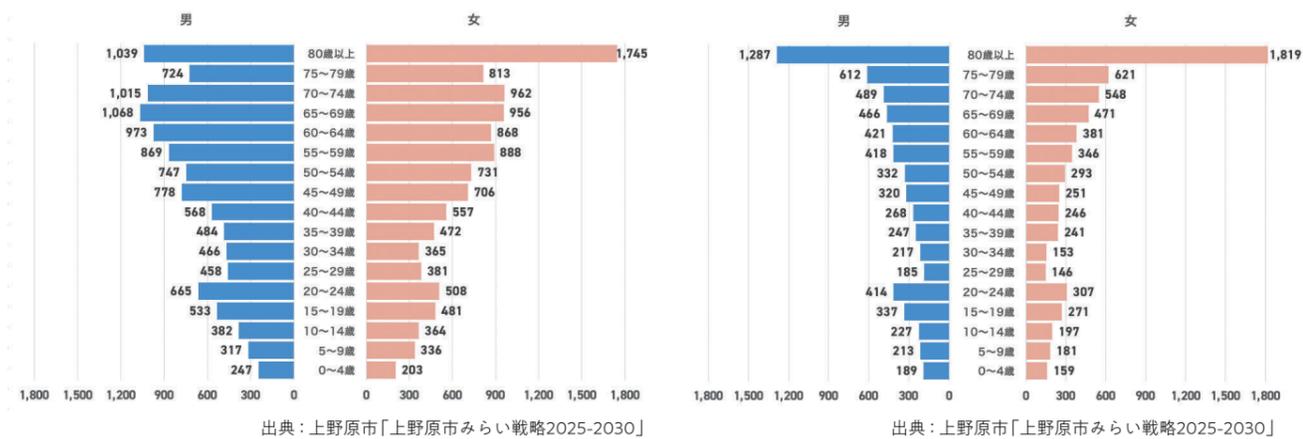
日本の総人口が減り続けるから仕方ないと受け入れるのか、もしくは、少しでもその減少が緩やかになるように対策をするのか、あなたはどのように思いますか？

環境負荷の低減や大都市の混雑緩和など、人口が減ることによるメリットももちろんあります。しかし、産業をはじめとして地域の担い手の不足に伴う、商店、学校、病院等の減少など、私たちの暮らしへの影響も大きく懸念されます。将来にわたって、安定した市民生活を維持していくため、若い世代の人口増加や出生数の回復などを図るとともに、市民一人ひとりがまちづくりなど様々な活動へ参加していくことが必要です。

上野原が上野原で在り続けるために、今できるところからはじめてみましょう！

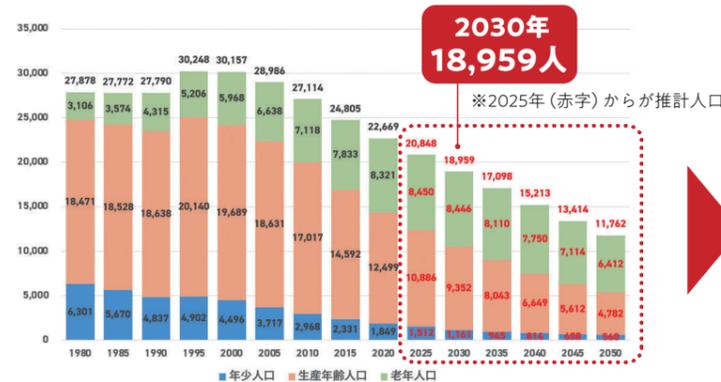
2020年の上野原市の5歳階級人口

2050年の上野原市の5歳階級人口



国が示す上野原市の将来推計人口

上野原市人口ビジョン



わたしたちが上野原で実現したい 30個のアイデア

まちの賑わいをつくろう！

- 市内にある9つの「区」の活性化
- 駅周辺を賑わいのある交流の場に
- いくつになっても元気なまちに
- 活気のある商店街を
- 私のハレノヒはここ上野原で

地域の資源を磨いて 観光で盛り上げよう！

- 自然を満喫できるまちに
- 桂川流域の活性化を
- 撮影受入 振興都市を目指して
- 上野原の魅力を積極的に発信
- ジオパーク構想の実現を目指して

安心して子育てができるまちへ！

- パパ・ママが子育てを満喫できるまちに
- 子どもの遊び場を増やしたい
- 出産・子育てに関連する施設の充実を
- 子育てに関する気軽な相談場所を

上野原だからできる教育で 未来を育もう！

- 子どもたちへの食育プロジェクト
- 高校生へのまちへの愛着の醸成を
- 子どもの可能性を引き出す教育活動を
- 上野原のいまを伝える機会を

住み続けたくなる 環境づくりでまちを便利に！

- 市内交通を改善して暮らしやすい環境に
- 空きバスの活用プロジェクト
- 空き家バンクの活用と移住者の受け入れ強化

笑顔があふれる 助け合いのまちへ！

- 地域がつながるおすそ分けシステム
- 上野原案内人プロジェクト
- 「みんなのカフェ」の立ち上げ
- みんなで応援プロジェクト
- ワールドカフェプロジェクト

産業を盛り上げて “働きたいまち”へ！

- 農業体験や就農支援の盛り上げを
- シニア世代いきいきプロジェクト
- 若手職員のやる気UP
- 工業団地の活性化、ものづくりのまちへ



「上野原市みらい戦略2025-2030」の策定にあたり開催してきた会議やワークショップ、ヒアリングなどで、市民や市内事業者のみなさんからあがった上野原で実現したいことを集約したものです。



まちの賑わいをつくらう！

行事やイベントなど地域のさまざまな取り組みが
世代を超えて受け継がれていく元気なまちへ。

駅や商店街などまちのどこに行っても活気のある上野原を目指して。

わたしたちが
実現したい
上野原のみらい

いくつになっても 元気なまちに

地域の高齢者がいくつになっても元気に
いられるように、介護予防や健康増進が
積極的に行われる取り組みを推進したい。
また、それに関連するようなフィットネス施
設やケア施設なども充実したらいいな！

市内にある9つの 「区」の活性化

人口減少や高齢化などにより地域のお祭り
や区の育成会、若い世代へむけたイベント
などの継続が難しくなっている現状。それ
ぞれの区が新たな取り組みを実施しながら
まち全体の活性化につながってほしいな！

活気のある商店街を

甲州街道の宿場町としても栄えた国道20
号沿いにある上野原商店街。高齢化など
により閉めてしまうお店も増える一方で若
い人や移住者が始める新しいお店も生ま
れている。本屋、花屋、雑貨屋、パン屋、
文化芸術のお店など多様なお店でもっと
賑わいが生まれてほしい！

駅周辺を賑わいのある 交流の場に

2018年にリニューアルされた上野原駅。
県内で東京に最も近い山梨の玄関駅とし
て、駅舎や駅前を活用してマルシェなど市
内、市外の方が参加する交流イベントを開
催して盛り上げたい！

私のハレノヒは ここ上野原で

趣味や仕事、結婚生活、子育て、部活、
恋愛などの人生における思い出の舞台や
記念日がここ上野原であるような場づくり
や取り組みをできたらいいな！

行政としての
具体的な取り組み内容

「上野原市みらい戦略2025-2030」と対応している
または参考になりそうな施策内容

P69 基本戦略1-2

具体的施策1-2-②

連携と協働によって地域を元気にする人材づくり

●市民活動支援事業

P71 基本戦略2-1

具体的施策2-1-①

地域資源を活かした仕事づくり

●地域おこし協力隊事業(地域づくり)

P75 基本戦略3-1

具体的施策3-1-①

人生100年時代を見据えた長寿社会の形成

●地域支援事業

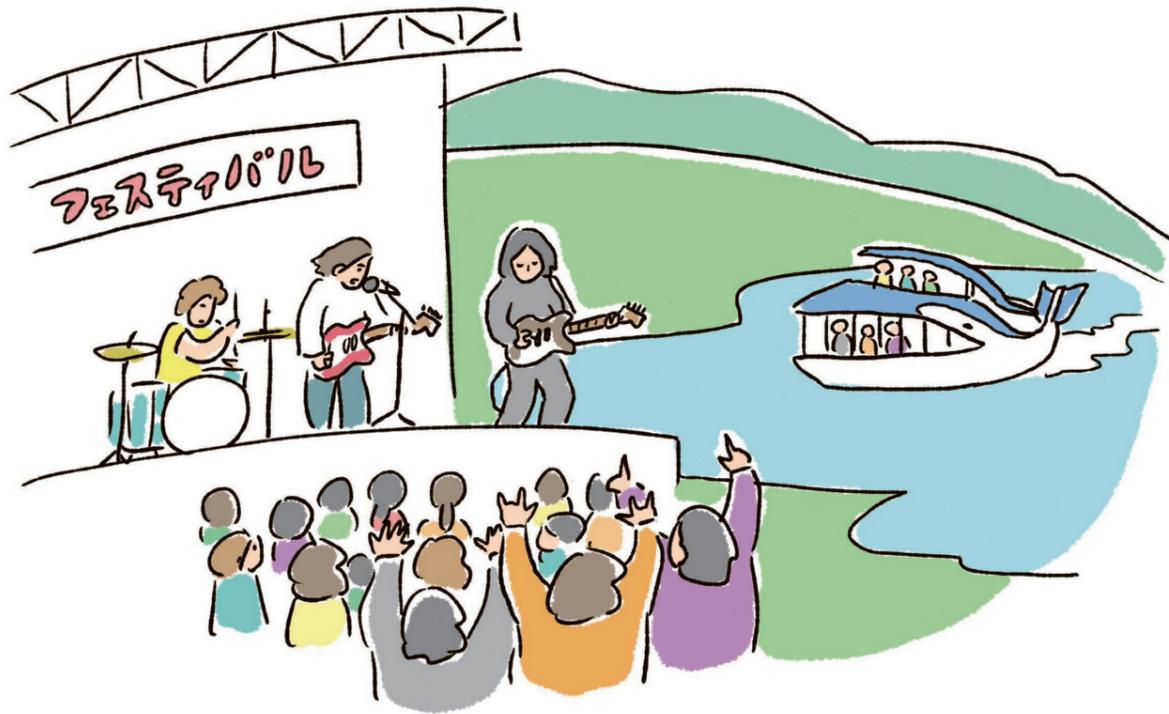
P76 基本戦略3-1

具体的施策3-1-③

特色を活かした地域づくりの推進

●地域運営モデル事業

あなたがこの分野で関心のあることややってみたいことをまずは書き出してみよう！



行政としての
具体的な取り組み内容

「上野原市みらい戦略2025-2030」と対応している
または参考になりそうな施策内容

地域の資源を磨いて 観光で盛り上げよう！

都心から約1時間でアクセスできる好立地でありながら、
豊かな自然と歴史を堪能できるのがここ上野原の特徴。

山梨の東の玄関口として多くの方にその魅力をもっと知ってもらうために。

わたしたちが
実現したい
上野原のみらい

撮影受入振興都市を 目指して

「あの映画のロケ地って上野原なんだって、行ってみようよ。」そんな声が多くなるように、積極的にドラマや映画などの撮影のロケ地として受入れ、ロケツーリズムの推進をしたい！

自然を満喫できるまちに

県内で東京に一番近い自然豊かな場所として、気軽に自然を楽しんでもらえる場所になってほしい。廃校や荒地などを活用し、ツリークライミング、川遊び、釣り、ハンモック、キャンプなどができる場所を作りたい！

上野原の魅力を 積極的に発信

上野原にはまだ知られていない魅力的なヒト、モノ、コトがたくさんある。SNSを活用しながら、情報発信を積極的に行い、「まだ、知らないだけ。」からいろんなことが知られているまちにしたい！

桂川流域の活性化を

毎年行われる桂川フェスティバルを中心に、相模湖エリアと連携して遊覧船を上野原流域まで運航させるなど、桂川流域全体での観光誘客ができればいいな！

ジオパーク構想の 実現を目指して

実は上野原は河岸段丘をはじめ、地質学的にもとても貴重な場所。これを観光誘客の1つとしてジオパーク構想が実現したらいいな！

P65 重点プロジェクト1

「まだ、知らないだけ。」プロジェクト

●「まだ、知らないだけ。」プロジェクト事業 ●シティプロモーション戦略策定事業

P71 基本戦略2-2

具体的施策2-2-①

魅力ある情報発信力の強化

●上野原市PR事業 ●ロケツーリズム推進事業

P72 基本戦略2-2

具体的施策2-2-②

地域資源を活かした環境整備と賑わいの創出

●桂川水辺等魅力化事業 ●推奨登山道ルート等補修整備事業

あなたがこの分野で関心のあることややってみたいことをまずは書き出してみよう！



安心して子育てができるまちへ！

都心へのアクセスもよく、自然豊かな上野原は
子育て環境としてはとても好条件の場所。

子育てに関する制度や施設の充実でもっと子どもの声があふれるまちを目指して。

わたしたちが
実現したい
上野原の未来

パパ・ママが子育てを満喫できるまちに

子育て期間も満喫しつつ、しっかりと社会復帰もできるようなそんなまちになってほしい。産婦人科がないまちだけの上野原って多くの女性が出産しているよねという風潮ができればいいな！

子どもの遊び場を増やしたい

自然が多い場所とはいえ、子どもたちが安心して思いっきり遊べる公園などが少ないのが現状。まちの至るところから多くの子どもたちの声が聞こえてくるようなまちを目指したいな！

出産・子育てに関連する施設の充実を

産婦人科をすぐに作ることは難しいかもしれないが、産後ケア施設や小さい子どもを預けられる場所、子連れでも気軽にいける飲食店やカフェ、子ども服のお店などがもっと増えてほしい！

子育てに関する気軽な相談場所を

子育て経験のある先輩パパ・ママを中心に、子育てや教育に関する悩みを相談できる場所があったらいいな。地域全体で助け合って子育てができるような環境にしていきたい！

行政としての
具体的な取り組み内容

「上野原市みらい戦略2025-2030」と対応している
または参考になりそうな施策内容

P66 重点プロジェクト2

関係人口創出プロジェクト

●多様な移住促進事業

P68 基本戦略1-1

具体的施策1-1-①

出会いから結婚・妊娠出産・子育てへの支援

●結婚新生活応援補助事業 ●上野原市出産時交通費等助成事業
●子育て世帯負担軽減事業(学童保育昼食提供事業)
●こどもの居場所づくり事業 ●在宅保育支援事業

P68 基本戦略1-1

具体的施策1-1-②

ワークライフバランスの実現

●放課後児童健全育成事業 ●上野原市こども計画策定事業

P69 基本戦略1-2

具体的施策1-2-②

連携と協働によって地域を元気にする人材づくり

●地域住人主導型共助コミュニティ創出事業

あなたがこの分野で関心のあることややってみたいことをまずは書き出してみよう！



上野原だからできる教育で 未来を育もう！

上野原で暮らす子どもたちが地域に愛着を持って
すくすくと成長できる場所に。

将来的に“上野原で育ってよかったな”と思ってくれる子どもたちを増やしていくために。

わたしたちが
実現したい
上野原のみらい

子どもたちへの 食育プロジェクト

子どものうちから上野原産の産品を食べたり、学んだりすることで食育の推進を図れるような環境を作りたい。特に、せいだ芋や雑穀は上野原を代表する産品でもあるので、いろんな人に知ってもらいたい！

高校生へのまちへの 愛着の醸成を

上野原の高校生に「上野原に残って働きたい」「いずれは上野原に戻ってきたい」と思ってもらえるまちにしたい。まちとの関わりをつくるワークショップやフィールドワークができるような機会を作っていきたい！

子どもの可能性を 引き出す教育活動を

豊かな自然環境の中で、山村留学や親子留学の実施を検討しつつ、子どもたちの可能性や選択肢を広げられるようなまちを目指していきたい！

上野原のいまを 伝える機会を

歴史・文化や産業だけでなく、市政やお金に関する授業を実施し、子どもたちにとって「自分たちでもこのまちを変えることができそう」と思ってもらえるようなサイクルができたらいいな！

行政としての
具体的な取り組み内容

「上野原市みらい戦略2025-2030」と対応している
または参考になりそうな施策内容

P66 重点プロジェクト3

官民連携・人材育成プロジェクト

●教育魅力化支援事業

P69 基本戦略1-2

具体的施策1-2-①

郷土愛を育む教育の推進

●文化財常設展示施設運営事業 ●GIGAスクール構想事業
●地域の自然・伝統文化活用事業 ●学校食育推進事業

P76 基本戦略3-1

具体的施策3-1-③

特色を活かした地域づくりの推進

●地域活性化策調査研究事業

あなたがこの分野で関心のあることややってみたいことをまずは書き出してみよう！



住み続けたくなる 環境づくりでまちを便利に！

幅広い世代がもっと買い物や通院、通学など市内の移動を
ストレスなくできるような環境に。

移住を考えている人も“このまちに住んでみたい”と思われるまちを目指して。



わたしたちが
実現したい
上野原のみらい

空きバスの 活用プロジェクト

保育園や学校、市役所などのバスで空いている時間帯に、市内を走ってもらい交通難民の解消を図りたいいな！

市内交通を改善して 暮らしやすい環境に

市内にあるあらゆるバスやタクシーなどを活用して、若い人にとってもお年寄りにとっても便利な公共交通環境が整備され、いまよりもっと住みよいまちになったらいいな！

空き家バンクの活用と 移住者の受け入れ強化

市内の空き家の活用を積極的に行っていききたい。移住のニーズはあるが、貸すことができる物件が少ないため、それを管理できる人材が新たな形の不動産屋として移住者の受け入れを促進できたらいいな！

行政としての
具体的な取り組み内容

「上野原市みらい戦略2025-2030」と対応している
または参考になりそうな施策内容

P66 重点プロジェクト2

関係人口創出プロジェクト

●二地域居住等促進事業

P72 基本戦略2-2

具体的施策2-2-③

移住・定住の促進

●移住コーディネーター活動事業 ●移住促進情報発信事業 ●移住促進補助事業

P75 基本戦略3-1

具体的施策3-1-②

誰もが安全で安心して暮らせる環境の整備

●地域交通充実事業(デマンドタクシー) ●上野原市高齢者外出支援事業

あなたがこの分野で関心のあることややってみたいことをまずは書き出してみよう！



笑顔があふれる 助け合いのまちへ！

同じ想いや同じ悩みを持った市民が集まって
交流し合える場所が増えていくために。

そこからまた新たな活動の種や想いの輪が広がっていくようなまちを目指して。

わたしたちが
実現したい
上野原のみらい

「みんなのカフェ」の 立ち上げ

子育て中のママや子育ての落ち着いたママが気軽に集まれるカフェを作り、情報交換や交流ができるような場があったらいいな！

地域がつながる おすそ分けシステム

余った野菜やキズのついた野菜などを活用し、それを自分で調理して近隣住民やそれを食べたい人に気軽に来店いただき、おすそ分けができるような地域コミュニティがあったらいいな！

みんなで 応援プロジェクト

上野原で頑張っている人、挑戦している人を地域として積極的に応援できるような環境がほしい。人手の支援やお金の支援、情報交換の場のセッティングなど地域一体となってチャレンジャーを応援しよう！

上野原案内人 プロジェクト

高校生や大学生、地域に関わりたい人などに、積極的に上野原の面白い人や場所を紹介し、地域内でのつながりを促進していきたい！

ワールドカフェ プロジェクト

日頃の困ったことややりたいことなどを日常的に持ち寄って、気軽に話し合う場をつくるような場を作りたい！

行政としての
具体的な取り組み内容

「上野原市みらい戦略2025-2030」と対応している
または参考になりそうな施策内容

P69 基本戦略1-2

具体的施策1-2-②

連携と協働によって地域を元気にする人材づくり

●市民活動支援事業 ●地域住人主導型共助コミュニティ創出事業

P72 基本戦略2-2

具体的施策2-2-③

移住・定住の促進

●サテライトオフィス等施設を活用した交流事業

P76 基本戦略3-1

具体的施策3-1-③

特色を活かした地域づくりの推進

●地域運営モデル事業

あなたがこの分野で関心のあることややってみたいことをまずは書き出してみよう！



産業を盛り上げて “働きたいまち”へ！

上野原の経済や産業を支えるさまざまな分野で
新たな盛り上がりを作っていくために。

そして、未来ある若者が上野原で働きたいと思えるまちを目指して。

わたしたちが
実現したい
上野原の未来

農業体験や就農支援の 盛り上げを

移住希望者や就農希望者に農業体験を行ってもらい、仕事や住居などを見つけてもらうことで一次産業の活性化につなげたい。また、農業に関心のある学生に対しての働き口を作るようなこともできたらいいな！

シニア世代 いきいきプロジェクト

経験や知識が豊富なシニア世代から創業支援や若い世代へのノウハウ継承ができる環境があつたらいいな。シニア世代と若い世代がつながり、その豊富な知識や経験が受け継がれて欲しい！

若手職員の やる気UP

職員の個性を活かし、挑戦できる環境を整えていきたい。しっかりと活躍が評価され、やりがいをもってまちづくりに取り組める地域でありたい！

工業団地の活性化、 ものづくりのまち

市内にある工業団地には優良企業やグローバルで活躍する企業が意外とたくさんある。地元住民や地元の学生がそこで積極的に働いてくれるような循環が生まれたいな！

行政としての
具体的な取り組み内容

「上野原市みらい戦略2025-2030」と対応している
または参考になりそうな施策内容

P66 重点プロジェクト2

関係人口創出プロジェクト

- ビジネスマッチング支援事業
- DX人材育成事業(デジタルマーケティング研修事業)

P66 重点プロジェクト3

官民連携・人材育成プロジェクト

- 公民共創コーディネーター配置事業
- 地方創生リーダーシップ・プログラム創出事業

P71 基本戦略2-1

具体的施策2-1-①

地域資源を活かした仕事づくり

- 新規就農者育成総合対策事業

あなたがこの分野に関心のあることややってみたいことをまずは書き出してみよう！

まちづくりなんて関係ないと 思っている方へ

Q まちづくりは行政がやる仕事でしょ？

A 今までまちづくりは、行政が主導して計画を練り、運営してきました。しかし、社会が成熟し、個人の価値観も多様化し、また、人口減少だけではなく、新型コロナウイルスの蔓延や大災害、経済格差や孤立の増加など地域課題も多岐にわたっているため、こうした状況にきめ細やかに対応するには、行政の力だけでは充分といえません。また、上野原市も含め地方自治体の昨今の財政状況の悪化は厳しいのが現状です。
そこで必要なのが、市民の力です。物質的な豊かさだけではなく、Well-beingなど心の豊かさが重視される昨今、市民一人ひとりの暮らしや働き方、生きがいづくりなどを実現できるまちづくりが求められています。そのためにも、住民一人ひとりがまちづくりに参加し、支え合い、協働していくことが必要不可欠です。

Q まちづくりができるような資格や能力がありません

A まちづくりは誰か一部の人のものではありません。まちづくりに参加するのに、何か資格や特別な能力は必要ありません。まずは、自分の興味のある分野や協力したいと思える人を見つけ、活動に参加してみることをオススメします。

Q 活動資金はどうすればよいですか？

A まずは、はじめからお金を沢山かけるのではなく、無理なくできる範囲で行うのが、活動が長く続くポイントです。また、いろいろな人とコラボレーションすることで、解決できることも沢山あるので、困っていることを相談できる仲間を増やすことも重要です。なお、本書のアイデアの横には、行政の「上野原みらい戦略」の対応ページが書かれていたり、上野原市では「上野原市市民活動支援事業」が行われています。

Q まちづくりなんて誰かがやってくればよいでしょ？

A 周りに目を向けてみると、自分らしい暮らしを求めて移住してきた人、まちの居場所をつくりたくてカフェを始めた人、子育てを応援しているママさんなど、上野原での暮らしを楽しむ人がたくさんいることに気づくと思います。その取組や場所は、結果的にまちを元気にしていたり、だれもが立ち寄れる居場所になっていたりします。
まちづくりという言葉は他人事になってしまう方もいると思いますが、自分が豊かに、幸せに暮らしていくために、自分事として必要なことに関わっていくことが大切です。

あなたの想いをカタチにするために

「わたしたちが上野原で実現したい30個のチャレンジ」の中に
あなたが参画してみたい、実行してみたい取り組みはありましたか？

これらを実現していくためには、行政だけの動きだけでなく、
市民一人ひとりの主体的な行動や協力が不可欠です。

そのために、今後どのようにまちづくりに参画していけば良いのかをご紹介します。

Step 1

まずは関心をもってみよう

このみらいブックの内容を改めてよく読み、その中から自分の興味のある取り組みを選び、各ページの右下にあるメモ欄に自分の関心のあることややってみたいことを書き出してみよう。それをもとに、家族や友達との身近な会話の話題に挙げてみてください。いろいろな人の意見を聞くことでアイデアが広がりたり協力者が見つかったりもするかもしれません。

Step 2

ひとりでできる小さなことから動いてみよう

自分の関心のあることややってみたいことに対して、ひとりや少人数でアクションができることをまずはやってみよう。実際に動いてみる中で見えてくるものもあるはず。どうやったら参加メンバーを増やせるのか、資金が必要だがどうしたらよいか、継続的な活動にするためにはどうしたらよいかなど、さまざまな課題が出てくるかもしれませんが、試行錯誤をしながら、徐々に挑戦する幅を広げていきましょう。

Step 3

同じ想いの仲間を見つけて議論を深めよう

ひとりや少人数での活動は行き詰まってしまうこともあります。そんなときは、既に似たような活動をしている人や同じような想いを持った人とともに、取り組みについて語り合ってみよう。直接コンタクトを試してみたり、知ってほしい人に相談してみたりしながら、想いの輪を広げてみましょう。ひとりでは見えなかった視点が増えたり、その仲間によって新たにできることが増えていくかもしれません。職業や年代などバックグラウンドの異なる人との出会いは、思いがけない相乗効果を生む場合もありますよ。

Step 4

深めた意見をみんなで行動に移していこう

みんな議論してきた内容をもとに、さらなるアクションにつなげていきましょう。いろんなメンバーが集まることで、これまでひとりでは形にならなかったことも実現へと近づいていくはず。また、困ったら市役所に気軽に相談してみることもよいでしょう。考えて、実践して、振り返るというサイクルを積み重ねていくことで、上野原の明るいみらいにつながっていきます。

5年後の2030年の上野原は
一体どんな姿になっているでしょうか。
みんながいままで以上に生き生きと
暮らせるまちにしていけるために
それぞれができることを探し、
小さなことからでも行動に移していきましょう!



その想いをカタチに。
さあ、みんなで「上野原の未来」を作ろう!

